SHALOM-NETWORK

発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3　　Web　http://www.nposhalom.net　　発行責任者：大竹静子
TEL ／ FAX　024-567-5322　　E-mail　info@nposhalom.net

2015 年「ひまわりプロジェクト」始動 !!

ひまわりプロジェクト二〇一五 今年の活動予定

今年も「ひまわりプロジェクト」が始まりました。昨年参加していただいた皆さんへはすでに栽培協力者募集開始の案内が送付されています。

シャロームのホームページを開いていただくとひまわりブログの案内が右に出ています。これを開くとひまわり情報をご覧いただけます。事務局や憩のスタッフが最新情報を皆さんに伝えようと書き込みを行っています。

今年は、全国のひまわりプロジェクト参加者の交流の場として充実させようとがんばっています。栽培上の問題や活動紹介など、全国のみなさんから気軽に情報を寄せていただくことで内容が充実していきますので、ご協力よろしくお願いいたします!

今年の「ひまわりプロジェクト」の活動予定は次の通りです。

今年は、種の入荷が早くなりました。日本は九州から北海道まで南北に長く気候もまったく違うため種の蒔く時期も大きく違います。早蒔きを希望する方へは早期の発送も可能となりました。申込み時に事務局にご連絡ください。

また、三年目となることから、これまでの成功例や失敗例も報告されてきており、失敗を防ぐ為のアドバイスも充実できると考えています。

種を蒔く場所により発芽率を高める方法も色々あるようです。プランターか畑かで大きく違います。植える前の土つくりで花の大きさも違ってきます。たかがひまわり、されどひまわり、取り組むと奥が深いですね。今年こそはの挑戦こそ栽培の楽しみなのかも知れません。

昨年からは、栽培している現地の人たちと直接交流する事業も開始しています。ひまわり油の収益金を活用した「ひまわり子ども大使」の派遣も行いました。

今年も新たな計画づくりに入っています。福島から送られたひまわりの種を通して、全国の皆さんが地域間での交流を活発化して行くことは大きな喜びです。皆さんからの企画提案等を積極的に取り入れ、交流を深めて行きたいと思います。

このため、今年は各地元イベントに向けての「ひまわりプロジェクト」の紹介パネル・チラシやひまわり関連グッズの貸し出しや提供も検討しています。ひまわり関連グッズとしては、ひまわりブローチ（木製）、ひまわりクッキー、ひまわり油「みんなの手」を準備しています。「ひまわりプロジェクト」の理論的テキストとして、昨年のひまわり感謝祭で行われたシンポジュウムの基調講演レジメを冊子化した「人間回復の理論と現実」（福田雅章著）も活用していきたいと考えています。若干はお分けすることもできますのでご利用ください。

一人一人の手が、「ひまわり」を育て「ひまわりプロジェクト」を育てていきます。「日本中にひまわりが咲き誇るとき、日本全体が人々の愛で包まれる。」そんな思いで今年の「ひまわりプロジェクト」も始まりました。皆さんの参加協力をよろしくお願いいたします。代表　大竹静子

年間スケジュール

1-3 月	ひまわりプロジェクト参加者募集
3-5 月	ひまわりの種発送
3-11 月（通 年）	ひまわり栽培者さんとの連絡・交流、ひまわり通信の発行・ブログによる情報の発信
5-6 月	各地で種まき
8-10 月	地域間交流プログラムの実施
9-11 月	種の収穫。福島へ種が届く
11-12 月	ひまわり油製造
12 月	「ひまわり感謝祭」

愛のメモ帳

節分が過ぎると、太陽の日差しが一挙に暖かくなってきているように思える。冬の寒さがまもなく終わることへの期待の気持ちも、知らず知らずのうちに込められているのかも知れない。

しかし、太陽のエネルギーはすばらしい。太陽が出るだけで暖かさがまったく変わってしまう。凍っていた道路も一気に溶けだし、陽炎のように水蒸気が立ち昇る。日差しの暖かさの中で、太陽がエネルギーの根源であることを納得している自分がいる。

自然の中での環境エネルギーの供給源は、太陽と地球内エネルギー（マグマ）である。水はこのエネルギーを取り込み温度を上げ、放出して温度を下げる地球のエネルギー調整装置である。生物は、エネルギーを固定化する装置である。植物は、太陽エネルギーを光合成により固定化する。これを動物が取り込み、分解し植物が成長するための肥料として供給する。地球のエネルギー循環は、生物の循環を生み、動物には食物連鎖を作り出していく。この中に人間の存在もあることを前提に考えていかなければならない。

太陽エネルギーを水を利用して取り込み、このエネルギーを固定化し、そしてこの固定化したエネルギーを必要時において取り出しいくシステムは、地球の壮大なエネルギー循環システムを作り上げてきた。

春の日差しは、新たな生命の息吹とともに、エネルギー循環のドラマを開始する。地球のエネルギー循環に謙虚に学んでいくことが人間社会に求められている。（T・O）